

日本アンダーライティング協会

第2回海外事情研究会

Precision Medicine テーマに講演

日本アンダーライティング協会は10月29日に東京都千代田区のシエネラル・ライオンシュアラ

ンス・エイジイで第2回海外事情研究会を開催した。今回の研究会では、呼吸器内科を専門とし海外事情に詳しいシエネラル・ライ

オンシュアラのシユアランス・エイジイのジョン・A・オブリエン氏が、今後保険医学において重要性が増してくると思われる「Precision

Medicine」をテーマに講演を行った。オブリエン氏は伝統的な手法とPrecision Medicineな手法とを対比させながら、主にがんのスクリーニングと治療に関する説明を行った。脳転移を来しているメラノーマに対するがん免疫療法

の効果や、急性リンパ性白血病に対するCAR-T療法の効果について言及があり、新たな治療法に伴うアンダーライティングの変化の必要性についての考察が行われた。講演後には、熱心に聴講していた受講者から講師へ複数の質問が寄せられ、「遺伝子検査と逆選択」や「英国、南アフリカにおける迅速な引受査定」などについてオブリエン氏の見解が述べられた。同氏は「Precision Medicineのみならず、医学・科学の進歩がアンダーライティングにもたらす課題は

チャレンジングなものであるが、まずは課題を認識し、医学・科学の進歩を助力としてよりよいアンダーライティングの可能性を模索していくことが重要だと締めくくり、盛況のうち研究会は終了した。